

平成 18 年度 知多半島 2 次医療圏地域・職域連携推進事業

目的：地域保健と職域保健が連携し、効果的な保健事業を労働者に提供するとを目的にこの事業に取り組む。(市町村)

◎は事業企画機関

事業名	半田市健康フェア	健康川柳募集事業	ハッピーライフセミナー	東海市・3 健保組合懇談会
月 日	9 月 2 4 日 (日)	平成 18 年 6 月 1 日～ 平成 18 年 6 月 30 日	平成 1 8 年 6 月 1 6 日 (金)	平成 1 8 年 7 月 2 5 日 (火)
開 催 場 所	さくら小学校	常滑市保健センター等	グリーンホテル三ヶ根	愛知製鋼(株)体育館 (アスカム) 1 階会議室
内 容	血液サラサラチェック 健康相談 歯科検診、フッ素塗布 よくわかる薬の話 骨密度測定	市内在住、在学、在勤者を対象に 生活習慣の改善について一人一 人の理解を深め、その健康づくり の実践をうながすため「健康」を テーマに川柳を募集	愛知製鋼 (株) に勤務している 5 5 歳のご夫婦を対象に退職後の人 生設計を計画してもらうために、 企業及び労働組合が主催で「ハッ ピーライフセミナー」を開催 市として「健康的な食生活」とい う題名だったが、市の概要・死亡 統計・市で行っている保健事業の 紹介・メタボリックシンドローム について講義を行った。	生活習慣病に対する保険(健)事業 健康診断・フォローの取り組み 東海市及び 3 健保組合で意見交換
評 価	参加者 2, 2 0 0 人	応募者数 小学生 420 人 中学生 821 人 一般 190 人 (INAX の社員等)	4 5 名の参加	市 2 人、3 健保 1 人ずつ
関係 機関	◎半田市 半田保健所 半田市医師会 半田歯科医師会 半田市医師会健康管理セン ター 始め 2 3 団体	◎常滑市 教育委員会 事業所 老人クラブ	◎東海市 愛知製鋼 (株) 愛知製鋼健康保険組合 愛知製鋼労働組合 愛知製鋼企業年金基金	◎東海市 新日本製鐵健康保険組合名古屋 支部 大同特殊鋼健康保険組合 愛知製鋼健康保険組合
課 題 及 び 効 果	・リピーターは多いものの、新 規参加者も増えつつある ・住民の健康への関心を高める ため、およびきっかけづくり となっている。	・健康づくりの動機づけにはな ったのではと思うが、健康づくり の実践に結びつけることが必 要。	(課題) ・市として市内の企業と連携を取 って実施していく必要がある。 (効果) ・定年前にセミナーを実施するこ とにより、定年後の生活が少し はイメージができ、今後の人生 設計ひいては健康づくりに役立 つ。	(課題) ・今後健康診査をどのように整合 性をもたせて行っていくのか。 ・健診データをどのように連携し ていくのか。また活用していく のか。 (効果) ・市の事業内容及び 3 健保の事業 内容を報告することにより、お 互いに何を行っているかが、明 確になった。
連 携 シ ス テ ム	イベント 主管：半田市健康フェア実行委 員会 年 4 回程度の実行委員会を 開催し、打合せ、終了後の報 告、次年度の日程、会場決め 等を話し合っている。実行委 員長は半田市のボランティ ア団体である半田市民健康 増進事業推進連絡会会長と している。 役割 参加団体は、事前にポスター 掲示、チラシ配布等で P R。そ れぞれの催事内容に基づき、前 日、当日に準備を実施して当日 に臨む。団体間の調整は実行委 員会および保健センター職員 にて実施。	21 推進連絡会 ・商工会議所、INAX、学校保健会、 常滑北高等学校、健康づくり食 生活改善協議会、知多保健所、 行政で募集。 ・選考も「21 推進連絡会」で実施。	セミナー 企業から市へ健康管理が移管され ることによるデータ等の連携。 継続的に健康管理を行っていくた めのシステムの構築。	懇談会 今後定期的に意見交換を行って いき、連携システムを構築して いく。